

登録コード	MA780605	開講年度	2026				
授業科目名	作業療法学特別研究					担当教員	佐賀里 昭
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Occupational Therapy					副担当	
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	不定期	対象専攻 / 学年	2
講義室				授業形態	演習	授業科目区分	作業療法学特別研究
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)						
	【保健学】高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。				【保健学】高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。作業療法学分野における研究課題の設定、研究計画の立案、調査・研究の遂行、論理的に構成された修士論文を作成することができる。		
(2)授業の概要	作業療法学分野において、大学院生の企画・立案した研究課題についての調査や分析を行い、考察を深めるとともに、論理的な結論を導き出し、修士論文を作成する。 身体障害領域の脳卒中、がん等の疾患を有した患者らのADL・IADL障害や社会参加を妨げる要因を分析するとともに、改善させるための介入手段の探索に主眼を置いた修士論文を作成する。						
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	作業療法学に関わる学术论文の作成に必要な能力を修得する。						
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	作業療法学分野における研究課題の設定、研究計画の立案、調査・研究の遂行、論理的に構成された修士論文作成の概念と手法を修得する。 1. 作業療法学分野における文献レビューができる。 2. 学会発表を行うことができる。 3. 修士論文を作成できる。						
(5)授業計画	1. 作業療法学に関する先行文献の検討を行う。 2. 研究テーマを設定する。 3. 研究テーマに基づく研究計画を立案する。 4. 倫理審査を受審し、承認を受ける。 5. データ収集・分析を行う。 6. 学位論文をまとめる。 7. 研究成果のプレゼンテーションを作成する。 8. 学位論文発表会においてプレゼンテーションを実施する。 (日時は受講学生と検討のうえ決定する。)						
(6)授業の進め方	授業は、原則として配布資料に基づいて進めていくが、能動学習による理解の深化を目指すために、質疑応答にも重きを置いて展開する。また、既習の内容を含めて知識を体系的に整理する課題を実施し、その成果を報告していただく。遠隔授業を行う場合があるためその際には、佐賀里より事前にご連絡させていただく。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	事前事後学習 毎回の授業の最後に、次回の授業につながる課題を出す。その課題を次回の授業で発表してもらう。事前学習としては、次回までに必要な文献検索とプレゼンテーション資料作成を求める。事後学習としては、ディスカッションで得られた情報をまとめ、適宜、論文執筆活動に反映させる。						
(8)成績評価の方法	修士論文の完成度とプレゼンテーション内容で評価する。						
(9)成績評価の基準	下記の評価項目の合計点にもとづき、判定基準は、90 - 100点（秀）、80 - 89点（優）、70 - 79点（良）、60 - 69点（可）、60点未満（不可）とする。 査読付き学術誌（邦文または欧文）に掲載または受理されている（20点） 研究の目的・方法・結果および考察について十分に理解し、明確に説明できている（30点） 研究内容について提起される質問に対して、論理的に説明できている（30点） 研究の将来展望について論述できている（10点） 当該研究分野に関する最先端の知識を有している（10点）						
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問への対応：佐賀里 昭 sagaria@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時（要事前連絡）保健学科南校舎2階 佐賀里研究室						
【テキスト，教材，参考書】	テキスト，教材 なし 資料は授業で配布する。 参考書 授業の中で紹介する。						